

予算決算委員会民生福祉分科会会議記録

1. 日 時	令和3年 2月 4日
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋、上田英樹、前田えり子、かんなん芳治、河南克典、小島政行、森本富夫
6. 市部局	○消防本部  ○市民生活部  ○保健福祉部
7. 参考人	なし
8. 傍聴人	なし
9. 会議に付した事件	議案第 6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号） 議案第 9号 令和2年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第3号） 議案第 7号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 議案第 8号 令和2年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
<p>開会</p> <p>日程第1、議案第 6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号）</p> <p>向井座長 挨拶</p> <p>○消防本部 担当課長補佐より、補正予算書に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p>	

かんなん委員 常備消防費に関し、燃料費等の予算は、減額になった一方で、時間外勤務手当は増えている理由は何でしょうか。

消防本部 以前は、年間の祝日勤務のうち、1日のみ振替休日にしていましたが、振替休日の未消化に係る問題があり、令和2年度からは、振替休日ではなく、時間外勤務手当になったことから、増えています。燃料費に関しては、コロナの影響があり、救急件数が減ったということです。

かんなん委員 時間外手当は、実質的な増加というよりは、対応の仕方が変わったということで理解しました。燃料費については、前年度実績でなく予算との比較での減額かと思いますが、前年実績を予算措置していたとの理解でいいのでしょうか。

消防本部 そのとおりであります。

河南委員 財産売払収入について、尼崎市から提供を受けた救助工作車かと思いますが、無償でいただいたものを転売するということに、少し違和感がありますが、別に問題はないのでしょうか。

消防本部 尼崎市から寄附いただいた救助工作車を処分するに当たりまして、当初は、発展途上国へ寄附する予定をしていましたが、特殊な車であることから、断られるということになりました。その後、県の消防学校に問合せをし、訓練用車両として使ってもらえないかとお願いましたが、車両は十分足りているということあり、なかなか引取り手が見つからない状況でした。寄附いただいたものを売却することは、心苦しいものでしたが、僅かでも市の財産収入になればと考え売却した経緯です。再利用ではなくて鉄くずとして買い取っていただきました。

河南委員 当市の車検切れの救助工作車についても同様に売却したということでしょうか。

消防本部 昨年の6月に新しい救助工作車を購入し、半年程、経過した中、新しい車両は問題なく稼働しており、実際の災害現場において十分活動出来ていることから、予備車を2台所有することの不経済性も考慮し、売却しました。

森本議長 市内でも感染が広がってきているなか、消防本部については危険と隣り合わせで、搬送等努力いただいておりますが、隊員の装備や物品等、十分に行き渡っている状態であるのか、確認したいと思います。

消防本部 現在のところ、資機材及び消毒薬品等については足りている状況であります。ただし、今後の感染状況によっては、品薄になり入手しづらくなる物品があるということは把握しております。

○市民生活部

清掃センター

担当課長より、補正予算書に基づき説明

質疑なし

地域コミュニティ課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

質疑なし

人権推進課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

上田副座長 民生費委託金に関し、人権啓発活動地方委託金の減額幅が3分の2となっていることも踏まえ、その減額理由を教えてくださいと思います。

市民生活部 人権啓発活動地方委託金については、三つ大きな事業があり、小学生幼稚園児に対する人権の花運動、8月に実施するデカンショ人権PR事業、そして12月の人権フェスタです。人権の花運動については、児童、園児と一緒に人権擁護委員が花を植えるという事業ですが、コロナ禍を踏まえ、擁護委員のみで実施しました。8月の人権PR事業や人権フェスタについては、イベントは中止とし、人権フェスタについては展示のみさせていただきました。講演会やイベント的な事業を中止したことによる減額でございます。また、人権文化を進めるための県民運動推進事業補助金については、補助申請内容の変更があり、講演会の代わりに人権啓発標語の懸垂幕、横断幕を設置しました。

向井座長 男女共同参画費に関し、委員会等の委員報酬について、10名就任予定のところ、6名になったものや、20名が15人になったとの説明でしたが、委員が集まらなかった理由は何でしょうか。

市民生活部 男女共同参画プランの策定委員会については、各種団体からの推薦委員と公募委員ということで、20名の枠を設けていましたが、設置要綱で団体推薦の委員と公募委員を調整する中で15名になり、5人分の予算が不要になりました。女性委員会については、10名募集していましたが、

公募では集まっていただけなかったもので、個別にお声がけをさせていただいた結果、6名になりました。

向井座長 予算としての20名枠に対して、公募や団体からの委員推薦の結果15名ということになったとのことですが、委員会の設置目的に沿っているという考え方でいいのでしょうか。

市民生活部 そのとおりであります。

市民衛生課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

河南委員 衛生手数料に関し、ごみ収集手数料について、塵芥収集に係る手数料との違いは何でしょうか。

市民生活部 収入のごみ収集手数料増額については、ごみ袋の販売量が増えたことによる増額です。歳出の塵芥収集に係る手数料については、ごみ袋の販売に係る手数料が増額となったものです。

市民協働課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

森本議長 コミュニティ活動推進費に関し、市民活動推進費の市民活動助成金について、25団体の申請で、11団体が中止されたとの説明でしたが、コロナ禍のなか、各団体においても開催すべきか中止すべきかの判断に苦労されたのではないかと思います。こうした相談があった場合、担当課としてどのような対応をしているのか説明をお願いしたいと思います。

市民生活部 基本的には、主体である市民活動団体において、実施あるいは中止の判断をされています。ただ、ステップアップ事業助成金については、ひとつの取組を3年間継続して支援するものであることから、中止による助成金の影響についてご相談をいただきました。市としては、コロナ禍を踏まえ、今年度の事業中止はやむを得ないものと受け止めており、次年度に事業を延期される場合はペナルティーを科すことなく、今年度分を翌年に繰り越して継続して支援することとしています。

河南委員 情報伝達設備整備事業補助金について、事業概要を説明願います。

市民生活部 自治会で設置されている掲示板やスピーカー、住宅内に設置されている機器等、放送設備を新設あるいは修繕する場合に事業費の3分の1を

支援するものです。当初予算額については、過去3年間の実績に基づき200万円を計上していましたが、今年度については、3集落の事業利用であったことから、減額させていただいています。

河南委員

多紀地区には有線放送、西紀地区には防災無線があり、公費で対応しているなか、自治会で整備しているところは自治会負担が生じていることは、不公平ではないかと思えます。市として整理していく必要があるのではないかと思います、いかがでしょうか。

市民生活部

多紀地区の有線放送については、2、3年程前に台風の被害によって、有線の断絶や支柱が倒れたこともありました。この件については、自治会から修繕要望をいただいたなか、情報伝達設備整備事業を利用いただき、修繕されてきた経緯があります。防災行政無線については、更新業務にかかっていることも含め、そうした検討の時期にあると考えています。

上田副座長

諸費に関し、工事請負費について、防犯カメラ2基を設置したということでしたが、市内の方から100万円の寄付をいただいて、実施した事業と記憶しています。残額については今後どのように対応されるのでしょうか。

市民生活部

残額分については、防犯カメラの設置補助金に充当しようと考えており、寄附いただいた方からの了解を得ています。

かんなん委員

消費者行政推進費に関し、成人病検診負担金について、予算どおり執行されたとお見受けしますが、コロナ禍の中、どのようにして行ったのか教えていただきたいと思えます。

市民生活部

成人病検診については、職員のものであり、総務課が所管しています。これまでは、自身の業務都合によって調整して行っていますが、今年度は、職員毎に時間を割り当て、混雑しないよう取り組んだと把握しています。

河南委員

コロナ禍において、体調不良の相談は健康課、保健福祉部で対応されると思えますが、様々な相談の中には不当解雇にあった方などもあるのではないかと思います。こうした健康上のものではない相談を総合的に受ける窓口は市民生活部にあるのでしょうか。教育は教育委員会、健康は保健福祉部というように、相談窓口が比較の見当が付きやすい場合はいいですが、それ以外の相談はどこに行けばいいのかという声も聞きます。そうした意味では、ここに行けば相談に応じてもらえるような分かり易い窓口必要ではないかと思えますので、市民生活部のみならず市全体に関わることかと思えますが、検討願います。

市民生活部

総合窓口としては市民安全課が担っており、市ホームページや広報等で周知させていただいていますが、これまで相談が殺到したということ

はありません。相談を聞かせていただいた際には、適切に関係機関等を紹介するといった対応をしております。

市民安全課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

河南委員 第19分団第2部の消防団詰所兼車庫が設置されましたが、その建設場所については、行政として指導すべきではなかったでしょうか。切り返さなければ詰所から出ることができないのは問題と考えます。どのような経緯によってあの場所に建設することになったのか説明願います。

市民生活部 この件については、3年ほど前に不来坂、住山、古市の自治会長から要望があり設置しております。要望があった当初から前面道路が狭いため出動しにくいことが想定されたため、地元自治会に対して他の候補地をお願いしましたが、地元からは当該地が適地であるとの回答が再度ありました。そういった経緯から指導は行えているものと考えております。

しかしながら、地元自治会長からは出動の際に国道へ出にくいいため、新たな対応を求める要望書が提出されており、地域整備課で対応することを聞いております。

河南委員 出動する際に、事故に繋がる可能性もあります。今回の場所については、行政指導をする必要があったと考えることから、今後しっかりと検討していただくようお願いします。

森本議長 交通安全対策費に関し、交通安全事業補助金について、アクセルの踏み間違い防止のためのものと思いますが、PR等に課題があるのではないかと受け止めています。当初予算としての見込み件数と実績、減額理由を説明願います。

市民生活部 この事業については、県も多額の予算編成をしており、市もそれに対応するような形で予算編成をしていました。こうしたなか、県の実績も伸びていないことを把握し、確認したところ、より有利な国のサポカー補助金という事業が後で出てきたことから、そちらへ申請が流れているとのことでした。当初予算は100件分を見積もっています。現在実績は4件であり、合計15件の予算額を残した形での補正としています。

向井座長 交通安全対策費の記念品の減額についても実績等の説明をお願いします。

市民生活部 当初予算は200件分を見積もり、令和2年4月から令和3年1月末までの実績は83件です。昨年度は155件でした。今年度は残り2か月で

47 件分を残しての補正としています。

○保健福祉部

健康課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

前田委員 予防費に関し、コロナ禍の中で、予防接種を控えるといったことも聞きますが、当市の状況はどうだったのでしょうか。

保健福祉部 1 回目の緊急事態宣言があった際、大切な予防接種であることから、止めないようにとの国の通達があり、接種をしていただいていますので、接種率がすごく下がった理由とは受け止めていません。

日程第 2、議案第 9 号 令和 2 年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）

長寿福祉課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

上田副座長 介護認定審査会費に関し、認定調査等費とそれぞれ約 1 割の減額となっていますが、その理由と例年のことなのか教えていただきたいと思えます。

保健福祉部 令和 2 年度の予算は昨年度の申請件数を踏まえて組んでいます。更新申請の認定期間が 3 年前から 2 年間から 3 年間に延びた影響を考慮して、今年度は更新申請の件数減少も見込んでいましたが、その件数が見込みよりも少なく推移しているため、減額をさせていただいたところです。

前田委員 継続的ケアマネジメント等の会議が中止になっていたり家族介護支援事業の講師謝礼も減額になっていますが、中止による影響は心配しなくていいのでしょうか。

保健福祉部 会議に関して、中止した主だったものは、まず権利擁護ネットワーク連絡会議があります。これは、関係機関の連携強化を目的に、お集まりいただいて、それぞれの業務を情報共有する中で、連携を強化していこうという目的で開催しております。何かの審議や協議するというものではありませんので、今年度は無理をせず、集まっての会議は中止しました。なお、例年情報提供している関係資料は、全て発送させていただき、

情報共有しています。そのほか、研修事業については、無理せず中止をしたという経緯がありますが、感染がずっと続いていますので、家族介護に係る研修会については、この3月までに3回実施すべく計画を進めています。これまでに中止させていただいたのは、情報共有を目的とする会議のみとご理解いただくとともに、中止した専門職の研修会については、直ちに影響があるというものではないと考えております。

森本議長 看護小規模多機能型居宅介護施設「ひまわり」において、当初の見込みより利用者が少なかったとのことですが、実績をご説明願いたいと思います。

保健福祉部 現在、登録数はほぼ定員に達していますが、令和2年3月の開設から、事業開始後3か月程度の軌道に乗るまでは、定員に達していなかったため、最初から定員を想定した予算計上であったため、その間の利用者が伸びておらず減額となっています。

向井座長 地域包括支援センター事業費の減額について、ケアプラン数の増減も含めて理由の説明をお願いします。

保健福祉部 地域包括支援センターのケアプラン数については、地域包括支援センターに加えて、介護サービス勘定で計上している指定介護予防事業の報酬と合わせてみていただく必要があります。地域包括支援センターの職員と指定介護予防事業所の職員でケアプランを立てていますが、基本的にケアプランを立てるのは介護サービス勘定で計上している指定介護予防事業所の職員です。ただし、その職員が賄えない場合に、地域包括支援センター職員がカバーしています。総数でみると西部も東部もプラン数は若干減ってきていますが、その理由の分析はまだ出来ていません。想定される要因としては、事業対象者になられた方、または、一般介護予防事業で、いきいき塾やいきいき倶楽部で状態を保っている方、住宅改修のみを利用され、ケアプランがなくなった方、そして重度化によって要介護に移られた方が考えられますが、それぞれがどの程度の割合なのか、どのように移行してきたのかは、把握できておらず、個別に一人ずつ追跡しなければ、見えてこないと考えています。今後、分析手法については、考えていきます。

向井座長 介護予防事業との関係は丁寧にさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

日程第1、議案第 6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号）

長寿福祉課



担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

上田副座長 老人福祉費に関し、高齢者タクシー料金助成補助金について、減額要因の分析をお願いします。

保健福祉部 この事業は平成30年度の途中から開始していますが、通年の実績は令和元年度のみであったことから、当初予算計上時に正確な見込みを出すことが難しかったことが要因のひとつと考えています。また、新型コロナウイルスの関係で利用が減っていることも考えられますが、この点については、1月初旬に各タクシー事業者に聞き取りを行いました。それほど大きな影響はないという回答も中にはありましたが、利用の主な目的が通院であり、回数が少し減少したとも仰っていました。ただし、通院しなくてもいいよう薬を長期処方していることによるものと聞いており、健康状態に影響はしていないと考えています。最後に、現行制度として1000円を控除した後、2分の1かつ上限が2000円の助成となっており、利用者負担が大きいことも利用が伸び悩んでいる要因と考えています。今後、助成額等について、分析し制度の見直しを図っていきたいと考えています。

上田副座長 利用者に対してPRするとともに、タクシー事業者を通じたPRも検討いただいて、利用を促進するよう働き替えていただきたいと思います。また、助成額についても検討いただければ、より使いやすいものになると思いますので、よろしくお願いします。

西紀老人福祉センター管理費について、減額が大きくなっている理由を説明いただきたいと思います。

保健福祉部 委託していた実施設計を基に、当初予算の見積もり段階(11月)では、1億4,905万円と積算していました。入札にむけて、紀洋会や管財契約課との協議の中で、材料等の見直しを行ったことや建築工事等の減により、入札設計額92,721,200円となりました。入札不調が続き不落随意契約となりましたが、9,240万円で契約することが出来ました。当初の予算の段階でやや高めの予算を措置したことから乖離が生じたと考えています。

上田副座長 大規模改修を終えたことを踏まえ、利用者の方々から様々な意見があるかと思いますが、今後、改修等の必要性はないと理解すればいいのでしょうか。

保健福祉部 今回は、あくまでも長寿命化という中で大規模改修を行いました。今後については、色々な意見を聞いていることも踏まえ、次年度以降に検討していこうと考えています。

議案第 7号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

医療保険課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

森本議長 保険給付費に関し、一般被保険者の療養給付費について、県に約2億1458万円を支払うとのことですが、その理由を説明願います。

保健福祉部 令和2年度予算を見込んだ時点では、令和元年度の状況が平成30年度に比べて、保険給付費がかなり減った状況であったことを踏まえ、県が令和2年度の予算を組みました。医療費の傾向としては、年々増加傾向にありますが令和元年度は珍しく減少になっていました。県が、その減少した年度で計算し、令和2年度も減少すると見込んだなか、実際には、医療費が増加し、以前に戻ったような状況となり、差額が生じたことから、補正をお願いするものです。

森本議長 今後の国民健康保険財政に影響はあるのでしょうか。

保健福祉部 こちらの保険給付費は、全額が県交付金として入ってくることから、市の基金を使うことはなく市の負担が急激に増えるということではありません。各市町は、事業費納付金という形で、市町負担分として県に納付していますので、保険給付費は、県交付金として、全額受け取ることとなります。なお、当市は増えていますが、逆に減っている自治体もあり、県が一体的にみていることから、途中で市の納付金が減るあるいは増えるということにはなりません。令和3年度の当初予算については、これからですが、コロナの影響も踏まえて国保税については検討しており、将来的なことも含めて検討していきたいと考えております。

前田委員 今年度は見込みよりも多くの給付を行ったことも踏まえて、次年度の納付金の算定にあたっていくということですが、当市への影響はないのでしょうか。

保健福祉部 今年度の医療費を見ますと減額になっている市町が多かったようです。増額になっている自治体は、見込みの段階ではありますが、丹波篠山市も含めて9つでした。平成30年度から県と市町が一体化し共同運営となっているので、保険給付費は全額県から入ってきます。制度が変わらない限り、市負担が急激に増えることは考えられません。

上田副座長 直営診療所勘定に関して、今年はコロナに直面するという初めての状況で、外来収入の減少、医療用衛生材料も若干の減となっているなか、機械器具等については、国の予算を活用し、診察室について高性能な空

気清浄機を入れていただく等、対策されてきています。こうした中で、担当課として、今年度の直営診療所を運営について、今後の課題等も含めて、どのように総括されているのかお聞きしたいと思います。

保健福祉部　やはり緊急事態宣言が出ている間は受診控えがありました。夏以降、ある程度戻ってきており、昨年並みとはいきませんが、ひどい落ち込みはないと考えています。患者に対しては、診療所入り口での消毒、診察室には、空気を一方向に流すクリーンパーティション、待合室には、医師会からの空気清浄機を設置し、ソーシャルディスタンスの確保等、できる限りの対応をしてきており、現在においては、コロナ対策が出来ていると考えています。

上田副座長　医師や看護師の方の負担はいかがでしょうか。

保健福祉部　各診療所で考えていただいております。大きな負担はかからずに、診療等もしていただいていると考えています。

かんなん委員　今田診療所のみ補正額が非常に丸まった数字になっていることが気になったのですが、補正額の算出の仕方が各診療所によって違いがあるのでしょうか。

保健福祉部　実績見込みにより、補正額は計算しております。

かんなん委員　特別な指示をしているわけではないということですか。

保健福祉部　そういう指示はしておりません。

#### 日程第4、議案第 8号 令和2年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

医療保険課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

質疑なし

#### 日程第1、議案第 6号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算(第13号)

医療保険課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

質疑なし

社会福祉課

担当課長より、補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

河南委員 児童福祉総務費に関し、次世代育成支援対策事業について、旧城南保育園は、どの課が管理しているのでしょうか。

保健福祉部 管財契約課になります。

河南委員 管財契約課が、地域に管理委託をしているのでしょうか。

保健福祉部 管財契約課と城南地区まちづくり協議会が使用貸借契約を結んでいます。リスク分担としては、管財契約課が火災保険の加入、火災保険料を負担していますが、それ以外の保険の加入、施設の改修、光熱水費の負担等については、城南地区まちづくり協議会が負担することになっています。

河南委員 社会福祉課が補助金事業を担当している理由は何でしょうか。

保健福祉部 跡地内にあるテント式建物の“パオ”が、多くの子どもたちの遊び場として提供されていることから、子育て支援との考え方により、社会福祉課で、今回補正予算を上げています。

河南委員 補助事業内容としてはウッドデッキを張りかえのみでしょうか。

保健福祉部 社会福祉課としては材料費のみ補助するものです。なお、ウッドデッキを修繕する際に、現状、床と地面が近いことから、床面を上げる改修もされると聞いています。

河南委員 跡地については芝生化されるとも聞いていますが、それはどのように行うのでしょうか。

保健福祉部 芝生化については県事業を活用されると聞いています。今回改修されるに当たっては、芝生化も踏まえて、パオの移設も考えておられます。

河南委員 実際の使い勝手を考えると、現状の跡地の真ん中ではなく、跡地の奥にパオを持っていくことが良いと思います。事業執行に当たっては、十分に打合せをしていただき、計画的に全体像を踏まえて、効果的な事業となるようにしていただきたいと思います。地域から要望があったからやるということではなく、全体的な計画性を押さえてきちっとやっていただくようお願いいたします。また、子どもだけでなく、高齢者も利用いただき、交流できるものにしてはどうかと思いますので検討ください。

保健福祉部 この修繕については、足を踏み込んでケガをしてはいけないということで、地元の要望があり、補正予算として計上しました。新年度予算としては、遊具の設置等も考えていますが、効果的なものとなるよう一体的に管理をしなければいけないと考えています。ご提案の高齢者との交

前田委員	流も含めた活用については、地域に働きかけをしていきたいと思います。 生活保護扶助費に関し、コロナの影響で生活困窮者が増えていると一般的に言われていますが、相談状況はいかがでしょう。
保健福祉部	相談の状況については、夏から秋にかけて若干減っていましたが、冬になり増えてきています。例年と比較しても2倍以上の相談件数があり、様々なコロナ支援策があるなか、適切な支援策に繋いでいます。
前田委員	生活保護の申請の際には、親戚や兄弟に扶養の照会をしていますが、厚生労働省の国会における答弁においては、必ずしもしなければならないものではないと言われています。生活保護のネックになっているとも聞きますので、配慮いただき、困っている方に寄り沿った対応をお願いしたいと思います。
保健福祉部	扶養の調査につきましては、国会でも確かに話が出ていましたが、現在のところ、それをなくして、保護を受けることが可能というところには至っていません。それぞれのケースがあり、必ずしも、近い親族全員に対して扶養調査をしなければならない状況ではありませんので、状況に応じた対応をしています。生活保護を受けるまでの調査については、重要事項であると考えており、申請者に対してはもちろんのこととして、市民に対する説明責任も含め、福祉部署としての根幹に関わる事項であると考えています。しっかりと丁寧に対応し、理解を得ながら進めていくことが重要であると考えております。
上田副座長	生活保護の申請が一般的には増えているのではないかと思います。こうした中で、今回100万円の減額ということですが、その要因について説明いただきたいと思います。
保健福祉部	今回の減額については、教育扶助と生業扶助になります。主に小中学生そして、高校生の教育支援費用に当たる部分です。年度途中で小中学生、高校生の人数が減ったことによる減額です。
向井座長	障害者総合支援法給付事業について、増額理由を説明ください。
保健福祉部	利用件数の増が主な原因です。利用回数の増を望まれている利用者があることから、ニーズに応えるようにしていると事業所から伺っています。それに伴い給付費の増額補正をお願いするものです。
向井座長	具体的な内容はどのようなものでしょうか。
保健福祉部	内容としては、主に放課後等デイサービスや児童発達支援となります。

## ■意向確認

議案第 6 号 令和2年度丹波篠山市一般会計補正予算（第13号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第 9号 令和2年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第3号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第 7号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

— 修正・反対等の意見なし —

議案第 8号 令和2年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

— 修正・反対等の意見なし —

（閉会）

上田副座長 挨拶

閉会